

岐阜県

氏名 森 哲 也 (もり てつや)

(満35歳 昭和58年9月28日生)

1 推薦の理由

被推薦者森哲也を一言で表すなら、誠実である。与えられた業務を確実に遂行することができる。また、どんな立場の人間にも敬意や感謝の気持ちを忘れずに接することができる。そんな被推薦者を慕う職員は多い。

平成26年度の第53回全国学校体育研究大会岐阜大会において、跳び箱運動「頭はね跳び」授業公開では、映像で前時との違いを示した課題提示、仲間同士の補助や教え合い、自らの課題に合わせた場での練習などにより、主体的に運動に取り組み、多くの生徒が技能を上達させ、大きな成果を上げることができた。それは、研究の確かさに加えて、被推薦者本人の人柄が生徒の信頼を集めているからである。以上の理由から、岐阜県では森哲也教諭を優秀教員として推薦する。

2 被推薦者の「体育授業」の特徴、指導効果、その成果の汎用性、成果を証明する資料等

体育の授業において、「主体的に運動に取り組む生徒の育成」を研究の中核に据え、仲間と相互に援助し合い、主体的な活動ができる学習集団を目指して取り組んだ。そのために、①集団の発達のみちすじに即した指導、②主体的な学びを生み出す相互援助活動を視点とし、実践を積み重ねた。

①集団の発達のみちすじに即した指導においては、岐阜県の過去の研究をもとにして、集団は「所属」「同調」「協力」「連帯」と発達していくととらえ、その発達の段階に適した学習集団の指導を行った。その条件として、「課題」「役割」「きまり」「仲間」の4つの中から、特に「きまり」「仲間」の集団維持に焦点を当てて研究を進めた。「指摘」や「真剣」「喜び」といったキーワードをもとに生徒がグループのきまりを決め、達成結果を得点化することで、グループの成果を求めて互いに要求し合える集団に近付くことができた。

②主体的な学びを生み出す相互援助活動においては、主体的に課題解決に向かうための小集団学習の工夫をした。小学校での実践も踏まえ、効率よく運動を行い自分の課題を見付け課題解決に向かうことができる「ペア・トリオ学習」と課題に応じた的確なアドバイスを個別にしながら課題解決に向かう「課題別学習」を設定した。そうする

ことで、自分なりの運動のとらえを伝えることができるようになり、自分の運動経過について深く思考・判断することができるようになった。そのような過程が、学習意欲にもつながった。また、教師が技術ポイントや練習方法、具体的な声かけを示すことで、生徒は「技術ポイントと練習方法を示した学習カード」やタブレット端末を用いての言語活動が活発になり、自分や仲間の運動経過を正確に把握して評価やアドバイスをすることができるようになった。

以上のことから、集団の学習条件を整え、仲間同士で学習することへの動機付けを図り、集団を高めながら技能上達の指導を進めることができた。その結果、体育授業の意識調査では、指導した生徒の体育授業の愛好度が高まった。

〈成果を証明する資料等〉

- ・第53回全国学校体育研究大会岐阜大会研究紀要
- ・第53回全国学校体育研究大会岐阜大会指導案
- ・岐阜県小中学校教育実践研究論文（最優秀賞）

3 公的な大会・研修会等で発表した授業実践や講習会の講師を務めた講習内容等の概要

- (1) 第53回全国学校体育研究大会岐阜大会において、器械運動の授業公開及び研究の概要について発表を行った。
- (2) 平成26年度岐阜県小中学校教育実践研究論文募集事業において、研究主題「主体的に運動に取り組む生徒を育てる体育授業の創造～第1学年女子器械運動の実践を通して～」の論文が、最優秀賞を受賞した。
- (3) 岐阜県中学校保健体育科研究部会において、研究主任を務め、「主体的に運動に取り組む生徒を育てる体育授業の創造」や「教育実践論文の書き方」について、講演を行った。

4 勤続年数 12年

5 職歴

平成18年 岐阜市立則武小学校 講師
平成18年 岐阜市立西部小学校 講師
平成19年 可児市立旭小学校 教諭
平成22年 岐阜市立長良東小学校 教諭
平成26年 岐阜市立岐阜中央中学校 教諭